

令和4年度茅ヶ崎俳句連盟吟行会表彰者一覧表

R4年11月30日作成

17		16		15		14		13		12		11		10		9		8		7		6		5		4		3		2		1		順位	特別賞																																				
〃		〃		〃		〃		〃		〃		〃		〃		〃		〃		〃		〃		〃		〃		〃		〃		賞		八城顧問	長島顧問	碓顧問	清水会長																																		
9		9		9		10		10		10		10		11		11		12		14		15		16		17		20		24		30		句番																																					
1	8	5	4	5	4	7	3	2	8	5	5		10	7	4	1	10		12	11	3	9	6	9	7	2	15	5	15	9	15	21	9	53	57	45	15																																		
31	15	92	7	100	19	87	61	111	41	30	16		54	80	65	96	10		25	75	47	48	32	120	108	84	59	81	37	74	53	106	85	「当季雑詠」																																					
小春風何度も空へグライダー		ゆらゆらと水際縁取る冬紅葉		空席の冬の球場鳶の笛		言の葉を探す庵の冬帽子		ビル蔭の稲荷の祠藪柑子		路地裏の漬物工房冬日燦		這ひ這ひの稚に落葉の温みかな		散紅葉乙女のダンスリハーサル		人恋ふる淋しきものに冬董		松の根のがつんと太き冬の朝		踏み出せと我を励ます朴落葉		柿落葉頬を燃やして駆ける人				ほろ苦き八十路もよろし石路の花		渾身の妻のリハビリ冬の蝶		小春日や嬰をあやす子笑はす子		目を奪ふ加賀の重箱年の暮		踏み締むる音の乾きや冬紅葉		紅葉散る風の喝采受けながら		鯛焼の匂ひ乗り込むエレベーター		庵寂と鳥影よぎる白障子		水に添ひ流れに惑ふ散紅葉		はらはらと風の容に木の葉散る		日を弾く鳥の鋭声や実南天		冬帝へ真向かふ墓の蹲踞かな		境内に枯木拳を上げしまま		しがらみを捨てて素顔の冬木立		念力も私欲も消えて日向ぼこ		金婚のたがひを杖に落葉踏む		百歳を生きる手立てや石路の花		昨夜の雨彩極まりし冬紅葉		冬櫛空の重さを押し上げる		冬櫛空の重さを押し上げる		駅過ぐる貨物列車のまとふ冬		昨夜の雨彩極まりし冬紅葉			
菱沼		中島		浜之郷		南湖		平和町		矢畑		円蔵		今宿		十間坂		元町		旭が丘		南湖		十間坂		東海岸		芹沢		浜見平		松波		受賞者氏名																																					
宮坂 妙子		日高 朝代		渡辺 武夫		長堀 育甫		松田ます子		秋富ちづ子		高橋 久子		清水 吞舟		伊藤あつ子		土屋 節子		八城 湖楊		秋山かつ子		原田 博之		佐久間由美子		西岡 青波		東 花梨		坂口 和代		東 花梨		北詰 隆美		吉武千恵子		宮坂 妙子																															

